



2024年

12月

中国四国農政局
徳島県拠点

徳島有機農業フェアを開催

中国四国農政局徳島県拠点では、有機農業・有機農産物を正しく理解し、それを支える消費行動への理解を促進するため、消費者庁新未来創造戦略本部との共催で「徳島有機農業フェア」を開催し、有機農業者と四国大学の学生とのパネルディスカッション及び有機農業や有機農産物に関するパネルの展示を行いました。

パネルディスカッション

「有機農業」について考えてみませんか？～つくる人の思い、食べる人の思い～

令和6年12月3日、四国大学の御協力の下、同大学キャンパスにおいて「徳島有機農業フェア～有機農業者と四国大学生によるパネルディスカッション」を開催しました。

中国四国農政局徳島県拠点の清水地方参事官による開会の挨拶を皮切りに話題提供とパネルディスカッションの二部構成で行いました。



清水地方参事官の挨拶

第一部 話題提供

中国四国農政局の田中次長から「有機農業をはじめとする持続可能な農業の確立」、消費者庁の大友参事官から「エシカル消費に関する消費者庁の取組」、株式会社フードハブ・プロジェクトの白桃農業長から「神山町での有機栽培の野菜づくり」について話題提供を行いました。

参加した学生からは「(株)フードハブ・プロジェクトについてはじめて知った。もっと知りたいと思った」「有機農業や有機JAS、日本の食料生産の状況、食料確保の重要性等に興味を持った」などの感想がありました。



話題提供



中国四国農政局 田中次長



消費者庁 大友参事官



(株)フードハブ・プロジェクト
白桃農業長

第二部 パネルディスカッション

「有機農業について考えてみませんか?～つくる人の思い、食べる人の思い～」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、コーディネーターである四国大学短期大学部の加渡教授による進行の下、株式会社フードハブ・プロジェクトの白桃農業長と四国大学生2名のパネリストから様々な意見が出されました。



コーディネーター 加渡教授



パネリスト（白桃農業長（一番右）と学生2名）

学生からは「食品を購入するときに意識するのは値段や量」「有機JASマークを知らなかった」などの意見が出されました。

これに対し、白桃農業長は「消費者に生産者のことをもっと伝えて販売していきたい」などの思いを述べられました。

これを受け、学生からは「作っている人から直接有機野菜を買ってみたいと思った」などの意見が出されました。



パネルディスカッションの様子

有機農業パネル展 ～みどりの食料システム戦略～

令和6年12月2日～12月13日の期間、徳島市立図書館5階ギャラリーにおいて有機農業や有機農産物に関するパネルの展示を行いました。

また、期間中、徳島市立図書館の御協力により有機農業に関する書籍展示コーナーを設置していただきました。



書籍展示コーナー



パネル展示（ギャラリー）

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島県徳島市中昭和町2丁目32番地

TEL (088)622-6133(内線403) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>